

農福連携実務のプロフェッショナルをめざしませんか



令和6年度 農福連携技術支援者 育成研修



農福連携技術支援者とは、農業者・就労系障害福祉サービス事業所の職業指導員・障害者本人等に対し、農福連携を現場で実践する手法を具体的にアドバイスする専門人材のことです。
修了試験を含む全ての研修課程を受講し、農林水産省から、必要な知識と技能を身につけたと認められた方は、研修修了者となり、「**農福連携技術支援者**(農林水産省認定)」として、現場における支援をすることができます。

研修 内容

… 受講者は、**1 座学研修** 及び **2 実地研修**の両方を受講する必要があります。

1 座学研修【eラーニング】 *配信期間中、各自が視聴可能な時間に受講

- 配信期間 …… 8月7日(水)~9月3日(火)
- 内 容 …… 農福連携概論・障害者雇用と障害福祉サービス事業の仕組み、農業者による農福連携の経営実務等

2 実地研修・グループワーク・現地見学【3日間】

日 時	場 所	内 容	講 師
9月4日(水) 9:00~17:00	山口県農林総合技術センター (防府市牟礼 10318)	実地研修 グループワーク 障害特性に対応した 農作業支援技法	神戸学院大学 現代社会学部 菊川裕幸講師
9月5日(木) 9:00~17:00	山口県農林総合技術センター (防府市牟礼 10318)	実地研修 グループワーク 農作業における作業細分化・ 難易度評価・作業の割当ての技法	神戸学院大学 現代社会学部 菊川裕幸講師
9月6日(金) 9:00~15:30	(福)山家連福祉事業会 夢かれん (防府市台道 3527-9)	現地見学 障害福祉サービス事業の運営実務 (事業所見学) *バスで移動します	(福)山家連 福祉事業会 夢かれんスタッフ
	山口県農林総合技術センター (防府市牟礼 10318)	*13:30~修了試験	神戸学院大学 現代社会学部 菊川裕幸講師

対象者 … 次の 1 と 2 全てを満たす方

- 1 農福連携の支援に関わっている方、又はこれから関わろうとする方
(農業者、障害福祉サービス事業所職員、行政職員、JA職員、団体職員等で農福連携に関心がある方)
- 2 認定後、「農福連携技術支援者リスト」として活動できる方

定員 … 20名 定員を超える応募があった場合は、受講者の調整を行います。
なお、山口県内在住・在勤者を優先して選考します。

受講料 … 無料 eラーニングにおける通信費及び実地研修・グループワーク・現地見学の集合場所までの
交通費・宿泊費は自己負担。

参加
申込 … 1 申込方法・受講を希望される方は、専用フォームからお申込みください。
<https://shinsei.pref.yamaguchi.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=Dz8622N6>



申込専用
フォーム
はこちら

- 2 募集期間 令和6年7月1日(月)～令和6年7月31日(水)
- 3 受講者決定の連絡

申込者全員に対し、締切から1週間から10日後を目途に受講可否の結果をお知らせします。
「@pref.yamaguchi.lg.jp」をドメイン指定し、迷惑メールフォルダに振り分けられないよう設定を
お願いします。

問合せ … 山口県農林水産部農業振興課経営体育成班
〒753-8501 山口県山口市滝町1-1 TEL:083-933-3375
Email: a17300@pref.yamaguchi.lg.jp



注意
事項

- 諸般の事情により、研修を中止することがあります。
- 研修期間中に発熱等の体調不良が生じた場合は、受講を控えてください。
- 実地研修では、農作業を行いますので、農作業に適した服装(作業着・帽子・手袋等)を準備してください。
- 実地研修では、農機具等の操作を行いますので、危険を伴う場合もあります。受講者各自の判断で任意の障害保険への加入をお勧めします。また、当日は健康保険証を持参してください。
- 視察見学では、受講者各自の判断で旅行保険等への加入をお勧めします
- 実地研修の最終日に修了試験を実施します。農林水産省が、受講者の修了試験の結果を踏まえて、後日、必要な知識と技能を身につけた者を「研修修了者」として認定します。ただし、認定を受けるには、修了試験を含む全研修課程を受講する必要があります。
- 農福連携技術支援者は、国家資格ではありません。